

トーク(得)
**東区する
コミ協
情報**

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は2つのコミ協を紹介します。

木戸地域コミュニティ協議会 理事長 横山 敏之

**地域の伝統的スイーツ
「笹団子作り」講習会を開催**

当コミュニティ協議会は二つの小学校区(木戸、竹尾)に跨り、「安心安全で活力あるまちづくり」をモットーに6部会で活動しています。まずは地域住民間のふれあいが一番と考え、様々なイベントを実施しています。



その中でも、大人数での交流が図れることから小学校の夏休み期間を利用して、「夕涼み会」や「学校に泊まろう会」、「笹団子作り」など地域密着型のイベントを行っています。

昔、笹団子は多くの家庭で作られていましたが、最近ではほとんど作られなくなりました。笹団子作りは、初めて経験する子どもたちや保護者に大変好評です。

新潟スイーツである笹団子作りを、次世代に伝えていきたいと思っています。

新潟スイーツである笹団子作りを、次世代に伝えていきたいと思っています。

大形地区コミュニティ協議会 会長 滝澤 莞爾

**「第19回大形ふれあい
ウォークラリー」を開催**

当コミュニティ協議会はその前身を「大形地区自治連絡協議会」と称し、当時から地域のふれあいを目的とした「大形ふれあいウォークラリー」を開催してきました。今年度は、大形地区の小・中学校と福祉団体等が参加する「大形ふれあいの会」と共催で平成26年10月5日(日)に開催しました。



当日は、子どもから大人まで大形地区に居住する254名が参加しました。参加者は地区内の名所を回り、歩きながらの会話で交流を深めました。ゴール会場では小・中学校の生徒のダンスや、福祉施設スタッフによるイベントを楽しみました。



今後も地域住民の絆を深めるため、大形地区の歴史的な場所や特色ある場所を訪ねる「ウォークラリー」を続けたいと思います。

ゴール会場では小・中学校の生徒のダンスや、福祉施設スタッフによるイベントを楽しみました。

今後も地域住民の絆を深めるため、大形地区の歴史的な場所や特色ある場所を訪ねる「ウォークラリー」を続けたいと思います。

**そうなんだ!
東区について知るクイズ**

全問正解者の中から抽選で**30名**に図書カード**1,000円分**をプレゼント!



- ①東区の人口は約(ア:5 イ:13 ウ:20)万9千人です。※平成26年10月末現在
- ②東区のイメージカラーは(ア:アクアブルー イ:ネイチャーグリーン ウ:ハーベストイエロー)です。
- ③東区には全国的にも珍しい砂丘湖である(ア:佐潟 イ:福島潟 ウ:じゅんさい池)があります。
- ④東区役所脇の県道4号線は通称(ア:青道 イ:赤道 ウ:緑道)と呼ばれており、交差点の名前では正式名称になっています。

応募のきまり

ハガキにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、本紙の感想・ご意見をお書き添えの上、郵送にてご応募ください。

- 締め切り 平成27年1月30日(金)(必着)
- 送付先 本紙1面の「事務局」あて
- ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

今回の第2号は「より読みやすく」を最優先に編集しました。文字や写真の大きさを工夫し、区民の皆さまに楽しんでいただける内容も掲載しました。「東区自治協議会」の取り組みを伝え、よりよいまちづくりの一助となれば幸いです。(本望 みな子)

じちきょうぎかいだより
**ひがしく
東区自治協議会
だより**

平成26年12月21日発行

第2号

発行 者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709

新潟市東区下木戸1丁目4番1号

東区役所地域課内

T E L : 025-250-2110

F A X : 025-271-8131

E-Mail : chiiki.e@city.niigata.lg.jp

東区自治協議会ニュース



～最近の主な活動についてご紹介します～

東区自治協議会委員の区内視察を実施

東区自治協議会委員研修を兼ねて、東区内の企業や施設を見学する区内視察を11月26日(水)に行いました。



視察をとおして、世界最大級の抄紙機(紙を製造する機械)の見学や物づくりの工程を学びました。

また、各企業とも見学会の受け入れなど、地域貢献活動をしており、東区の個性である産業のまちを実感しました。今回の研修で学んだことを今後の活動に役立てたいと思います。

視察先

- ・新潟原動機株式会社 新潟内燃機工場、鑄造工場
- ・北越紀州製紙株式会社 新潟工場
- ・東北電力株式会社 新潟火力発電所
- ・石山南まちづくりセンター



新潟市区自治協議会委員研修会に参加

9月5日(金)西蒲区にて、市内8区の自治協議会委員を対象とした研修会が開催されました。まず始めに、区自治協議会の活動事例を紹介する「事例発表会」が行われました。当協議会から、大野副会長が「地域のコーディネーター役としての区自治協議会」と題して、平成25年度の活動を紹介しました。内容は、各部会がワークショップ等をおして地域の意見を集約し、自治協議会の役割である「協働の要」として、地域課題の把握・解決に取り組んだというものです。

その後、地域での高齢者支援、自治協議会の活性化をテーマに行われた「意見交換会」では、他区の事例や課題等を聞くことができ、有意義な意見交換ができました。



「東区区ビジョンまちづくり計画」の策定に向けて



来年度から「にいがた未来ビジョン（新潟市総合計画）」がスタートすることに伴い、今年度、区役所では「区ビジョンまちづくり計画」の策定に取り組んでいます。

「区ビジョンまちづくり計画」は、平成27年度から平成34年度までの8年間における東区の目指す姿と、その実現に向けたまちづくりの方針を示すものです。

東区自治協議会では、昨年度末から、東区の現状や課題とこれからのまちづくりの方針について、全体会や各部会で検討してきました。

現在、「区ビジョンまちづくり計画（案）」に対するパブリックコメント（市民意見募集）を実施していますので、皆さまからもご覧いただければと思います。

○意見の募集期間 平成26年12月14日（日）～平成27年1月13日（火）

○閲覧・配布場所 東区役所地域課、石山出張所、市ホームページ ほか

詳しくは市ホームページをご覧ください。東区役所地域課（本紙1面参照）までお問い合わせください。

各部会の活動状況の紹介

第1～3部会が担当する自治協議会提案事業の進捗状況や検討事項をお伝えします

第1部会（市民協働部門）

防災に関するワークショップを自治会・町内会単位で開催し、それに基づいた災害時の避難地図の作成や避難誘導看板の設置を行っています。モデル地区として事業実施した大形地区では、看板の設置が終了しました。今後も各自治会・町内会ごとに看板の枚数や設置場所を決定し、作業を進めていきます。

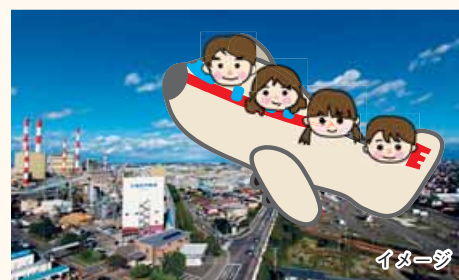
また、平成19年度に、新潟市全域において小学校区単位で結成された「地域コミュニティ協議会」のあり方について検討しています。区内には12のコミ協がありますが、超高齢社会、空き家対策など様々な問題に対応することができるコミ協にしていくために、議論を重ねていきます。



看板設置の様子

第2部会（福祉・教育・文化部門）

東区の魅力をより一層区民の皆様にお伝えしたいと考え、「東区を紹介するデジタル紙芝居」を制作中です。現在の案では「東区に県外から引っ越してきた若い夫婦と同居することになった老夫婦」の温かい交流を通じて、現在と未来へ向かって発展する東区の魅力を紹介できればと考えています。制作している委員も知らなかったことが多く、魅力いっぱいの東区。完成が楽しみです！



イメージ

第3部会（産業・環境部門）

区民の皆様が区内産業に関心を持ち、地域と区内産業との連携を深めるためのきっかけづくりを目的に、東区内の事業所等が実施している見学会や職場体験の受入れなどの地域貢献活動の情報をまとめた冊子を作成しています。公募や郵送で事業所にアンケート調査を依頼して、多くの回答が寄せられました。

現在は、冊子の編集作業を開始したところです。完成した冊子はコミュニティ協議会や小・中学校等に配布する予定で、区内の事業所の活動を知るための参考にさせていただきたいと思っております。



見学会の様子

東区の公共交通を考える

各区に設置されている「地域公共交通検討会議」では、超高齢社会において、持続可能で利用しやすい、公共交通のあり方について議論しています。その会議には自治協議会委員も参加し、地域住民の視点で発言をしています。

現在、東区には主に、3つの課題があります。

- ①路線バスが区内のJR駅に乗り入れていない
- ②バス路線のうち、南北方向の路線が十分ではない
- ③駅やバス停から離れている地域がある



これらの課題をふまえて、平成26年9月8日（月）の検討会議では、東区役所地域課から「生活交通改善プラン（案）」について説明がありました。（計画期間：平成27～31年度）

プランに対して、公共交通機関の乗り継ぎ時間の利便性向上や、バスやタクシーを連携させた、高齢者が利用しやすい交通施策についてなど意見交換を行いました。

今後も、自治協議会として区内の生活交通について考えていきたいと思っております。

自治協委員が伝える東区の魅力

～今回は中地区（山の下、桃山、東山の下、下山地区）を紹介します！～

この地域は信濃川、阿賀野川の大河をつなぐ通船川に囲まれた地域です。明治時代後期から近代新潟にかけて発展した、工業地帯の始まりが山の下地域です。



夜の工場はきれいです

通船川が信濃川と阿賀野川に交わる、山の下と津島屋には閘門排水機場があり、海拔ゼロメートル地帯の多い新潟市を洪水から守る役割を担っています。



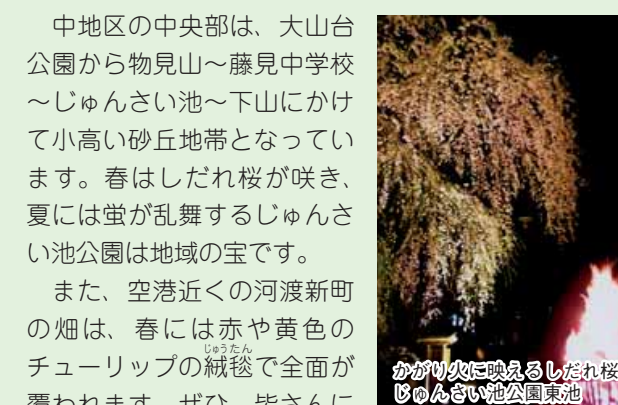
海拔ゼロメートル地帯を洪水から守る山の下閘門

西には海の玄関口である新潟西港が、東には空の玄関口である新潟空港があり、新潟駅にも近い地域です。加えて、山の下市場や大型ショッピングセンターなどがありとても住みやすい町になっています。

新潟空港は旅客機の運航だけでなく、航空自衛隊や海上保安庁の基地も併設され、海難事故救援の拠点にもなっています。



航空自衛隊の基地は新潟空港に面しています



かがり火に映えるしだれ桜 じゅんさい池公園東池

中地区の中央部は、大山台公園から物見山～藤見中学校～じゅんさい池～下山にかけて小高い砂丘地帯となっています。春はしだれ桜が咲き、夏には蛍が乱舞するじゅんさい池公園は地域の宝です。

また、空港近くの河渡新町の畑は、春には赤や黄色のチューリップの絨毯で全面が覆われます。ぜひ、皆さんにも見てほしいところです。

最後に、山の下みなとタワーの展望台からは西に弥彦、角田山、新潟市中心部、東に新潟空港、白い煙の上がる工業地帯や遠くには飯豊連峰、月山まで望むことができます。眼下には、新潟西港にゆったりと出入りする大型フェリーの姿があります。

このように魅力いっぱいの中地区を、皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。（若槻 勲）



出航するフェリーと新潟の中心部 山の下みなとタワーより